

多彩な知識と実践的能力を身に付け、生活を科学する。

被服製作や調理の知識・技術の修得をはじめ、家庭生活と社会の関わり、保育や社会制度など、家庭科の学びは多岐にわたります。衣食住、家庭、環境、福祉など、未来に生かせる幅広い範囲の「生活」について総合的に学び、教科としての「家庭科」の教材研究・開発能力を持った教員を目指します。

4年間の学び 多様な在り方・多様な生き方を支える「生活」を総合的に学ぶ

- 被服が生活に果たす役割や意義を学び、被服製作に必要な知識と技術を学ぶ
- 食事と健康との関わりを理解するための基礎となる栄養学、食品学について、講義や実習を通して学ぶ
- 衛生管理にこだわり、少人数から大人数、多文化など、多様な調理技術の基礎を学ぶ
- アプリを活用した調理動画作成を行う
- 「住居」を通して「生活」を学び、「デザイン」する基礎を身に付ける
- 家庭生活や消費について、生活経営学、生活経済学の観点から、総合的に学ぶ
- 生涯の生活設計を行う上で必要なさまざまな基礎知識を身に付ける
- 家族・家庭生活について、それを取り巻く社会環境との関わりで多面的に学ぶ
- 保育の意味や意義について理解し、今、保育に求められている課題について学ぶ
- 現代社会において子どもが生まれ育つこと、子どもを産むこと／産まないこと、子どもを育てること、それらを支える社会関係や制度について、総合的に理解する
- デジタル教科書、ロイロノートなど、ICT機器を活用した家庭科の授業づくりを学ぶ
- 体験や実践を通して「できる喜び」「できる自分」を発見しながら、生活に生きる確かな力を育むことを目的とした家庭科の実践的・体験的な活動を通じた授業を構想し、その意義、具体的な指導の方法と留意すべき点などを学ぶ
- 身の回りの「ひと・こと・もの」を教材化し、日常生活の中で無意識に行われていることを意識化する家庭科の授業づくりを学ぶ
- 「家庭科新聞づくり」「公共物の取材・調査レポート」などを通して、現実や実際を手がかりとした家庭科の教育内容研究や教材づくりを学ぶ

■ 主な授業科目

- 初等家庭科教育内容 ■ 家庭経営 ■ 家庭経営演習 ■ 保育学 ■ 被服実習 ■ 調理学 ■ 生活環境論 ■ 初等教科教育開発（家庭）
- 初等家庭科教育法 ■ 家族論 ■ 生活設計 ■ 保育学演習 ■ 食物学 ■ 調理実習 ■ 生活機器 ■ 中等教科教育開発（家庭）
- 中等家庭科教育法 ■ 生活経済論 ■ 消費者論 ■ 被服学 ■ 食物学実験 ■ 住居学

取得できる免許

〔卒業要件に含める免許状〕

小学校教諭一種免許状
中学校教諭二種免許状(家庭)

〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭一種免許状(家庭)

〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

高等学校教諭一種免許状(家庭)
◎幼稚園教諭二種免許状
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 家庭専修4年
愛知県立刈谷北高等学校出身



豊富な実践経験を通じて
家庭科教員としての
知識と技能を磨いています。

■ 2021年1年次前期の時間割(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限		食物学	初等体育科教育内容A		
2時限	情報教育入門		初等家庭科教育内容B	スポーツI	
3時限	初年次演習	教育原論	この時間を使って「学校体験活動入門」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。	英語I	初等国語科教育内容A
4時限	キャリアデザインI	発達と学習の心理学		家庭経営	初等英語科教育内容A
5時限	キャリアデザインI				

家庭科教員を目指して、知識と技術を幅広く、専門的に学んでいます。「調理」であれば、実際に野菜を育てるところから始め、野菜の特性や特徴を生かした料理を作るなど、本物に触れる機会が豊富にあります。自ら作成した指導案をもとに授業を行う「模擬授業」に取り組む機会も多く、学生同士で意見を出し合いながら、より良い授業になるよう繰り返し見直しを行うことができました。こうして1年次の早い段階から経験を重ねることで、理想の教師像に一步步確実に近づけたと感じています。